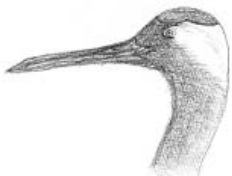


☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19
内本町松屋ビル10 370号
TEL 06-6949-8120
FAX 06-6949-8121
E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp
URL http://oskougai.com/
発行責任者 金谷 邦夫
年間購読料一部2,000円(送料共)
郵便振替 00910-7-300387



自動車排ガスの健康影響などを学ぶ

第16回 測定研究会シンポジウム2011 開催

第16回測定研究会シンポジウム2011は11月3日(木)午後、此花会館にて39名の参加のもとに開催されました。

西川代表の開会挨拶で始まり、記念講演では兵庫医科大学の島先生から「近年の自動車排出ガスの健康影響に関する疫学研究」と題する話をいただきました。前半は千葉大学勤務時

代の「道路沿道とぜん息」の研究成果で、大気汚染公害裁判での患者の勝利への力強いサポートになった内容の話でした。後半は環境省のそらプロジェクト調査研究での自動車排出ガスと健康影響との関係について、疫学研究の最新の方法も駆使した調査研究の話でした。難しい話でしたが、ぜん息の原因を特定することは患者を救済するための重要な調査であり、道路沿道(50m以内)では健康に影響があるということがよくわかりました。今回の結果を現在のぜん息患者の救済のための重要なデータとして活用していくことができると思いました。

その後、住民団体から測定運動の報告があり、測定之苦労話などを討論しました。道路公害に反対し東住吉区の環境を守り街づくりを考える連絡会の松田安弘氏からPETボトルでのSPM測定の問題点と悩みな



ど、中津リバーサイド・コーポ環境守る会の上田幸雄氏から団体名称を変更した事情など、あおぞら財団の小平智子さんから小学生による空気の汚れ測定をしているが年々小さい値になって説明に悩んでいる事情、北菓本保育園の松本剛一さんからは土地の強制収容にもめげずに裁判提訴して、民主主義を守る闘いの意義、マスコミの捏造報道

での被害状況などが話されました。

また、測定研究会の長野・喜多さんから「第二京阪道路供用による二酸化窒素濃度の増加」が明確となりアセスメントより大幅に汚染が進行していること、ソラダス2012本部実行委員会の中森さんから「ソラダス2012に向けての取り組み」が進み始め、地域ごとの問題の掘り起こしが重要であること、西淀川公害患者の会の池永さんから「ぜん息患者の新たな救済運動の訴え」があり、東京都のような救済制度を早くこの大阪でも必要としている事情が話されました。大阪から公害をなくす会の中村事務局長からは「原発ゼロ・自然エネルギー推進の新しい府民運動」の話があり、終了時間ギリギリまで熱心な討論ができ、新たなエネルギーを得た1日となったことと思えます。(詳細は公害環境測定研究・年報2011(第16号)をご覧ください)

最後に大阪から公害をなくす会の金谷会長から閉会の挨拶をしていただきました。休日にもかかわらず多数の方が参加していただきありがとうございます。(測定研究会・久志本)